

事業報告書

1. 事業名
遺伝子組換え実験安全研修会
2. 事業目的
文部科学省の方針に基づき、各機関のより良い遺伝子組換え実験安全管理体制構築に関する情報提供・情報交換および討論を行う。
3. 開催期間
平成22年6月5日（土）10時00分～17時00分
4. 開催場所
学術総合センター 中会議場（東京都）
5. 主催
全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会 主催
国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議 共催
6. 後援
文部科学省
7. 参加機関
国立大学法人32校、公私立大学19校、独法・国立研究所13機関、
民間研究所等12組織 合計76機関 参加者合計132名

8. 事業概要

プログラムにしたがって、参加者は事前登録に基づき、午前中は4つの分科会（分科会1：遺伝子改変マウスの取り扱いについて（組換えウイルス感染実験を含む）、分科会2：多様な遺伝子組換え動物（ショウジョウバエ、メダカ、カイコ、他）の安全管理（拡散防止措置等）、分科会3：遺伝子組換え実験の申請書式と機関審査体制について、分科会4：植物の遺伝子組換え実験（第一種）の今後について）に分かれ、各分科会コーディネータの主導の下、各分科会の主要課題を中心に、討議および意見交換を行った。

午後は、全体会議の開催の挨拶の後、文部科学省ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室、美留町潤一専門官によるカルタヘナ法の概要および最近の状況に関する説明、ならびに、事前質問に対する回答を頂いた。引き続き、午前に行われた各分科会での討議・意見交換の概要が各分科会コーディネータから説明され、その後、各分科会での午前の討議内容や会場からの多数の質問を含め、カルタヘナ法全体にわたる質疑応答や討議・意見交換が活発に行われた。

参加者へのアンケート調査を行った結果、大変有意義な会であり、有用な情報が得られたとのことであった。また、今後もこのような機会があれば積極的に参加したいとの意見が多数寄せられた。

参考資料

- ① 当該安全研修会のポスター
- ② 当日スナップ写真

遺伝子組換え実験安全研修会

場 所：学術総合センター 中会議場 1～4

2010年6月5日(土)

場所のご案内と経路

東京都千代田区神田一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 中会議場 1～4

- 地下鉄をご利用の場合 -

- ▶ 東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄三田線、都営地下鉄新宿線
・神保町駅下車 A8 出口から徒歩 3 分
- ▶ 東京メトロ東西線「竹橋」1B 出口徒歩 4 分

Program

[10:00 - 12:00 分科会 (各分科会に分かれて議論)]

- 遺伝子改変マウスの取扱いについて (組換えウイルス感染実験を含む)
- 多様な遺伝子組換え動物 (ショウジョウバエ、メダカ、カイコ、他) の安全管理 (拡散防止措置等)
- 遺伝子組換え実験の申請書式と機関審査体制について
- 植物の遺伝子組換え実験 (第一種) の今後について

[14:00 - 17:00 全体会議]

- 挨拶
 - 文部科学省
 - 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会
 - 国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議
- 文部科学省への質疑応答
- パネルディスカッション (分科会での検討事項を中心に)



対象者：国公立大学等の遺伝子組換え実験安全管理に関係する方

■ お申し込み方法 (※参加費無料)

以下の項目を E-mail または FAX にて 5月28日(金) までにお送り下さい。

※申し込み締切を延長しました。 ※当日参加も可能です。

- 1) 参加希望の分科会名
- 2) 所属 (大学名等)
- 3) 氏名
- 4) 郵便番号・住所
- 5) 電話番号
- 6) 役職
- 7) E-mail アドレス

お問い合わせ / お申し込み先

鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野
〒683-8503 鳥取県米子市西町 86

TEL : 0859-38-6472 FAX : 0859-38-6470 E-mail : segrc2@med.tottori-u.ac.jp

主 催：全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会
共 催：国立大学法人中国地方バイオネットワーク連絡会議
後 援：文部科学省

研修会当日のスナップ写真



受付



午前の分科会



午前の分科会



午前の分科会



午後の全体会議



午後の全体会議